

高校あるいは大学初学年等で使う化学の教科書や参考書の記述

以下参照ください。

- 1) 本全体
- 2) 本全体
- 3) page 18
- 4) page 230, [1]
- 5) page 18, 136
- 6) page 23
- 7) page 16, 43
- 8) page 28, 149
- 9) page 16
- 10) page 17
- 11) page 26
- 12) page 26
- 13) page 24, 230
- 14) page 60, 61
- 15) page 34 (cf. 44)
- 16) page 107
- 17) page 67
- 18) page 169-170
- 19) page 125
- 20) page 122, 169-170
- 21) page 140
- 22) page 43, 115
- 23) page 30, 9 章
- 24) page 36 (これは有名な受験参考書の記述であるが、電子は波動性をもつため定常状態では1周回れば元の状態に戻るの、とびとびの波長しかもてない。それが正の電荷をもつ原子核に負の電荷をもつ電子が静電相互作用でくっつかない理由である。)
- 25) 本全体
- 26) 本全体
- 27) 本全体
- 28) 公害について勉強しよう。例えば DVD[2]を見て欲しい。
- 29) [1]
- 30) [1] (1回だけの実験データは、統計的に意味を持たない。写真を実験結果として使う場合にもこのことをよく理解しておく必要がある。実際に、写真データからねつ造が生まれたケースは数多くある。

[1] 実験データを正しく扱うために、化学同人編集部編、化学同人、2007

[2] 水俣病-その20年-/水俣病-その30年-(2作品同時収録)

[IF<INDEPENDENT FILMS> DVD シリーズ 2 公害の原点・水俣から学ぶ]

土本典昭 (監督)